

歯周病は、細菌の出す毒素で骨がしだいに溶けていく病気です。一度溶けた骨は通常もとには戻りません。症状も出にくく、少しでも早い検査と治療で進行を止める必要があります。

## 歯周病の治療の流れ

歯周病は自覚症状が出にくい病気です。 **検査** 検査をしなければ発見できません。



**治療方針の検討・ご説明**



**治療** 軽度の歯周病の方は約1～3回（約1日～数週間）  
 中度の歯周病の方は約4～8回（約1～2か月）  
 重度の歯周病の方は10回以上（数か月～半年）



**再検査（治療の評価・確認）**

検査は治療をした後に、数週間治癒期間をあけてから行いますので、月に一度程のペースです。

**治癒**

**病状安定**



**メンテナンス**

**SPT** サポート・ペリオドンタルセラピー

## 検査 / 治療方針検討

歯周病の進行の度合いを調べます。

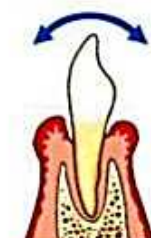
- ・ 歯ぐきの状態（色、形、出血の有無、膿の有無）
- ・ 歯の動き（歯を押すと前後、左右、垂直的にゆれる）
- ・ 歯を支える骨の状態（X線検査）



歯ぐきの状態



歯周病進行度の把握



歯のうごき



X線検査

治療方針の検討・ご説明



## 歯周治療

歯周病の治療を行います。

- ・ プラークコントロール
- ・ 歯石の除去
- ・ 歯根表面や歯周ポケット内の汚染物質の除去
- ・ 歯周外科治療
- ・ 補綴治療/咬合調整など

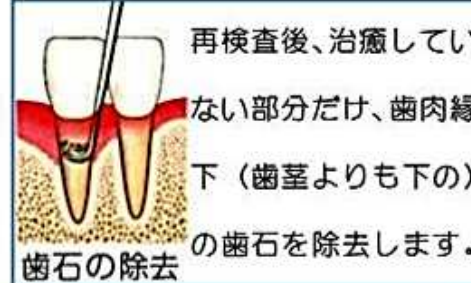
歯石除去だけでは治癒しない重度の歯周病の部分だけ、外科処置をします



プラークコントロール



最初に歯肉縁上（歯茎よりも上）の歯石を除去します。



再検査後、治癒していない部分だけ、歯肉縁下（歯茎よりも下の）歯石を除去します。



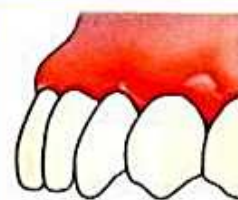
歯周外科治療  
 抜歯よりも、お体に優しい治療です。

## 治癒 / 病状安定

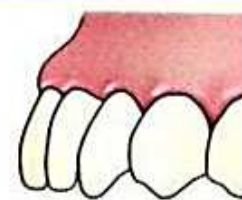
治癒とは？

- ・ 歯周ポケット 3mm 以下
- ・ 歯肉からの出血がない

病状安定とは、4mm以上の歯周ポケットや出血がある状態であっても、歯周病の進行が一時的に止まっている状態のことです。



治療前



治療後

## 治療後のケア

毎日のセルフケアと定期的なプロフェッショナルによるケアが大切です。



セルフケア



メンテナンス / SPT



PTC（プロフェッショナル・トゥースクリーニング）

★メンテナンス：歯周病が治癒した状態です。しかし、4～6か月ほどすると必ず歯石が付着してきますので、軽度の歯周病になってしまいます。軽度の歯周病のうちに治療をすると、短期間でまた歯肉は治癒します。

★SPT（安定期治療）：一時的に歯周病の進行が止まっている状態です。しかし、放置をするとすぐに再発してしまいますので、1～3か月ごとに月に一度プロフェッショナルケアを行い、歯周病の進行を阻止し続けます。